

令和 7 年度 西土佐総合保健施設 医師住宅 3 号 新築工事 (機械設備工事)

設 計 図

令和 7 年 8 月

株式会社
プラス 1 設計室



THINKING KONG

特記仕様書（１）

工事名称	令和7年度西土佐総合保健施設医師住宅3号新築工事
設計年度(設計図)	令和7年度
工事期間(完成図)	令和 年 月 日～令和 年 月 日
工事場所	高知県四万十市西土佐用井

棟名	構造	階数	延床面積 (㎡)	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
	木造	1	80.15㎡		
		戸数			
		1			

I 共通事項		
種目	項目	特記仕様（※及び●印をつけたものを適用する）
一般共通事項	適用仕様	※特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」(改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 令和4年版)」による。 ※国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編」 ※国土交通省仕様 (例：外壁の地中部等 水密を要す部分はツバ付鋼管スリーブ等。地中部で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱・梁以外の箇所で、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。)
	スリブ	○国土交通省仕様 ●メーカー仕様 ※区画貫通処理の必要な箇所については、箇所に設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。 ※「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」(建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版)による。 建物の種別： ○特定の施設 ●一般の施設 地域係数： 1.0 1)設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。 2)設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1/2とする。
	機器類 区画貫通処理 耐震措置	重要機器 防災機器 火を使用する機器 タンク類 消火設備機器
	機器の固定	※基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。 注) ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。 ※機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。(県標準図16) ※ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。 ※防振架台を設置する場合、耐震ストッパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。
	配管の支持	※一般土間コンクリート下部配管は耐蝕性のある吊りボルト(垂鉛ドブ漬又はステンレス製)にてスラブ筋に支持する。 ※屋外及びビット内配管の支持金物・吊り金物は垂鉛ドブ漬又はSUS製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ※仕様のとおり吊り配管等も施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。
	ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表
	(テープシール材)	※(イ) テープシール材は、JIS K 6885(シール用四ふっ化エチレン樹脂未焼成テープ(生テープ))によるものとする。 注) 水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。
	(ベーストシール剤)	※(ロ) 一般用ベーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。 ※(ハ) 給用水、給湯用及び冷温水用の防食用ベーストシール剤は、JWWA K 161(水道用ライニング鋼管用液状シール剤)に規定する水道用シール剤とする。 注) 水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なベーストシール剤は下記による。 ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤(ロ) (例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメテックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメテック No.A0-9など) ライニング鋼管に使用する防食用ベーストシール剤(ハ) (例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール55・88・403・株式会社ヘルメテックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメテックNo.A0-9など)
	サヤ管工法 埋設深さ(管上) 埋設管の保護 建設発生土の処理	※サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。(同時施工を行わない。) ●一般敷地300mm以上 ●車道通路600mm以上 ○公道800mm以上 ○公道1,000mm以上 ○公道1,200mm以上。 ●埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。 ※構外搬出 処理場所()所在地()距離()km その他
	建設副産物	○構内指定場所に敷き均し ○構内指定場所に堆積 ※アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。 ※浄化槽・樹類の砂利地業は原則として再生クラッシュランを使用する。(アスファルト再生品混じりは不可)
	コンクリート工事／骨材 はつり・非破壊検査	※本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。 ※はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。
	総合調整	※下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。(測定場所等は監督職員の指示による。) ○風量調整 ○水量調整 ○室内外空気の温湿度の測定 ○騒音の測定 ○室内気流及びじんあいの測定
	技能士の適用 完成後の提出物	○配管施工(配管工事) ○熱絶縁施工(保温工事) ○建築板金施工(ダクト製作及び取付) ○冷凍空調調和機器施工 ○その他 完成図 ※CADデータをCD-Rに保存して提出。 ※画像データ(PDF形式) ※A4版黒表紙金文字製本1部 ※2ツ折りA3版製本1部 施工図 ○CADデータをCD-Rに保存して提出。 ●画像データ(PDF形式) ○2ツ折り製本(サイズは原図による) 工事管理資料(写し) ※フラットファイル等に閉じたもの。 工事写真 ※フラットファイル等に閉じたもの。 工事日誌 ※フラットファイル等に閉じたもの。 工具類 ○マンホールフック ○制水弁ハンドル ○掃除口ハンドル ○
●(揮発性有機化合物)対策	対象建築材料等	使用制限
	① 合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
	② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。
	③ 木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
	④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有してないものとする。 2)フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
	⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台	①、②、③、④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。 室内に関わる材料(上記②～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

配管材料	① 配管用炭素鋼鋼管【SGP黒管】(JIS G 3452)	⑳ ポリブデン管 (JIS K 6778)						
	② 配管用炭素鋼鋼管【SGP白管】(JIS G 3452)	㉑ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管【D-VA】(WSP 042)						
	③ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管【SGP-VA】(JWWA K 116・WSP 011)	㉒ 排水用ノンタルエポキシ塗装鋼管 (WSP 032)						
	④ 水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管【SGP-VD】(JWWA K 116)	㉓ 排水用鋳鉄管【メカニカル形2種管】(JIS G 5525)						
	⑤ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管【SGP-PA】(JWWA K 132・WSP 039)	㉔ 鉛管(HASS 203)						
	⑥ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管【SGP-VS】(WSP 041)	㉕ 硬質ポリ塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741)						
	⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管【SGP-HVA】(JWWA K 140)	㉖ 硬質ポリ塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741)						
	⑧ 一般配管用ステンレス鋼鋼管【SUS 304 TPD】(JIS G 3448)	㉗ 排水・通気用耐火二層管【内管VP】						
	⑨ 配管用ステンレス鋼鋼管【SUS 304】(JIS G 3459)・・・60A以下は拡管式	㉘ 卵形管【ゴムリング】(JAWAS K-3)						
	⑩ 水道用ダクタイル鋳鉄管【3種管】(JWWA K 113)	㉙ プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管						
	⑪ 鋼管【M】(JIS H 3300)	㉚ 硬質塩化ビニル被覆鋼管【ガス】(JIS G 3452原管) 白						
	⑫ 外面被覆鋼管【M】(JIS H 3330) 給湯	㉛ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)						
	⑬ 耐熱性硬質塩化ビニル管【HTVP】(JIS K 6776)	㉜ ガス用ステンレス製フレキシブル管【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】						
	⑭ 水道用硬質塩化ビニル管【VWP】(JIS K 6742)	㉝ 断熱材被覆鋼管【ポリエチレン保温材】(JCDA 0009) 冷媒						
	⑮ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管【HIVP】(JIS K 6742)	㉞ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品)						
	⑯ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管【RR-VP】(JWWA K 127)	㉟ 空調用保温材付ドレン管【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】 (内管JIS規格品)						
	⑰ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管【RR-HIVP】(JWWA K 129)	㊱ -						
	⑱ 水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)	㊲ -						
	⑲ 水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144)	㊳ -						
	㉔ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769)	㊴ -						
管種使用区分	工種／場所	屋 内 一 般	屋内ピット	屋内コンクリ	屋 内 土 中	屋 外 埋 設	屋 外 架 空	
	給 水 (直 圧)	㉑				㉑	㉑	
	給 水 (一 般)							
	汚 水	㉑				㉑		※125A以上の地中埋設は ㉑ とする。
	雑 排 水	㉑				㉑		※125A以上の地中埋設は ㉑ とする。
	通 気	㉑				㉑		
	ガ ス							
	消 火							
	給 湯	㉑	㉑				㉑	
	器 具 接 続							
	冷 温 水							
	冷 却 水							
	中 水							
	冷 媒	㉑					㉑	
	空 調 ド レ ン	㉑					㉑	
	塗装・防食	※ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライマ)を施す。 ※ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。 ※ 土中埋設する鋼鉄管、鋼鉄異形管(メカ型継手共)及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。 ○ 居室等に露出して使用する配管支持金具類 (電気メッキ品) は塗装 (さび止めペイント・中塗り・上塗り) を施す。						
工種／場所		屋内露出	機械室・倉庫	天井・PS内	床下暗渠内	屋外露出		備 考
給 水		a ₂ ()Ⅶ	b()Ⅶ	c ₂ (□)Ⅶ	d()Ⅶ	e ₃ (ハ)Ⅶ		一般換気EAダクトは外壁から2m保温する。 浴室系のみ。(保温不要)
排水・空調ドレン		a()Ⅶ	b()Ⅶ	c ₂ ()Ⅶ				
給 湯		a ₂ ()Ⅰ	b()Ⅰ	c ₂ (□)Ⅰ	d()Ⅰ	e ₃ (□)Ⅰ		
冷水・冷温水管		A()Ⅲ	B()Ⅲ	C ₁ ()Ⅲ	D()Ⅲ	E ₂ ()Ⅲ		
冷 媒 管		(チ)+スリムダクト	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)+スリムダクト		
矩 形 ダ ク ト		J ₁ ()Ⅺ	I()Ⅺ	I()Ⅺ		K ₂ ()Ⅺ		
スパイラルダクト		O ₁ ()Ⅺ	N()Ⅺ	N(□)Ⅺ		P ₂ ()Ⅺ		
V U ダ ク ト								
(イ)ロックウール保温材	(ニ)簡易保温筒10mm	(ト)簡易耐熱保温筒20mm	(ヌ)ガルバリウム鋼板					
(ロ)グラスウール保温材	(ホ)簡易保温筒20mm	(チ)冷媒用被覆鋼管	(ル)カラーガルバリウム鋼板					
(ハ)ポリスチレンホーム保温材	(ヘ)簡易耐熱保温筒10mm	(リ)SUSラッキング	(ヲ)合成樹脂カバー					
表示	● フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。 ※ 器具類 (洗面化粧台・給湯器・温水器等) と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。							
	※ 配管表記 ①機械室・ピット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。 ②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。 ③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 ※ 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ペンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。 ※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。(県標準図13) ※ 水中に設置するような各種主要機器類 (水中ポンプ等) は銘板を壁付近にも設ける。(製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。) ※ 屋外に設置するバルブ札は固定するか、表示方法を協議する。 ※ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。 ※ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示板(標示柱は県標準図8)を設ける。 ※ 配管の埋戻し時は、6L-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(W)を埋設する。(排水・通気管を除く)							
	○ 引渡しを要するもの () ○ 現場において再利用を図るもの () ※ 再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。 ※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書(共通編)による。							

特記仕様書(2)

II 工事種目

●衛生器具設備	取付位置 大便器 化粧鏡 流量調整 洗濯機パン シール(コーキング)	※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。 (特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意) ※ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布(3mm以上)とする。(県標準図1) ※ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。 ※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、裏面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。 ※ 小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。 大便器 8～10秒 小便器 8～10秒 自閉式水栓 7秒 ※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。 ● 器具類と壁・床のシール(コーキング)打ちは右記の表による。 <table><tr><th>機器種別</th><th>設置場所の床が湿式(防水)</th><th>設置場所の床が乾式(非防水)</th></tr><tr><td>洋風便器</td><td>—</td><td>不</td></tr><tr><td>洗面器類</td><td>不</td><td>—</td></tr><tr><td>掃除流し</td><td>不</td><td>—</td></tr><tr><td>洗濯流し</td><td>不</td><td>—</td></tr><tr><td>洗濯パン</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>ステンレス流し台</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>化粧棚</td><td>不</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="3">壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。</td></tr></table>	機器種別	設置場所の床が湿式(防水)	設置場所の床が乾式(非防水)	洋風便器	—	不	洗面器類	不	—	掃除流し	不	—	洗濯流し	不	—	洗濯パン	—	—	ステンレス流し台	要	不	化粧棚	不	—	壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。		
機器種別	設置場所の床が湿式(防水)	設置場所の床が乾式(非防水)																											
洋風便器	—	不																											
洗面器類	不	—																											
掃除流し	不	—																											
洗濯流し	不	—																											
洗濯パン	—	—																											
ステンレス流し台	要	不																											
化粧棚	不	—																											
壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。																													
●給水設備	負担金額 継手類 バルブボックス 隠蔽部の保温 既設給水鋼管への接続 水槽類の施工手順 水槽類の衛生管理 引渡前の水質の管理	● 不要 ○ 要() ※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品(指定のない場合は、二次側給水に準じた弁) ※ 二次側給水弁(土中): 40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁(内面ライニング) ※ 二次側給水弁(一般): 40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鑄鉄製 F 付 内面ライニング弁5K ※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。 ※ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。 ※ ビニル管とライニング鋼管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。 ※ T Sバルブソケットは金属製(砲金)おすネジを打込しているものを使用する。 ※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図5・6による。 ※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。 空間の有る壁中配管 → 要 流し下の空間配管 → 要 ※ 改修工事等で鋼管類(ライニング鋼管)を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、鋼管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品(エポキシ系DEVCON SF等バイブライニング用)にて処置する。ただし、コア一体型管端防食タイプソケットRC-LA型棒リケンを使用する場合は処理不要とする。) ※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図4を参考とし水位高さを協議する。 ※ 受水槽・高架水槽を新設(改修等含む)施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。 ○ 残留塩素濃度の測定を行う。(端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。) ○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査(11項目)について行うこと。採水場所は指定の箇所で()ヶ所とする。																											
●排水設備	保護砂 砂利 樹脂製排水樹 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他	● 第1樹以降の屋外ビニル管部分には、保護砂(180度台)を要す。 ○ 遠心力鉄防コンクリート管部分には砂利台を要す。 ※ 防護蓋を設置する場合は県標準図7による。 ● 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCパッキンを使用する。 ※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結(VCパッキンでも可)とする。県標準図5による。 ○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。(但し平屋建は不要とする。) ※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで一必要 流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管→不要 ○ 満水試験 ● 通水試験 ○ 鏡確認 ※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共仕区画に適合する処理を施す。																											
○消火設備	消火栓箱	○ 消火栓箱は(○ 県標準図12 ○ 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様) ○ 共仕区画の消防検査受検必要																											
●給湯設備	弁絶縁対策 給湯管の保温 大気汚染対策	● 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K ※ 鋼管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。 ※ 銅板製ボイラー及び鋼管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。 ※ 給湯配管に簡易保温筒(クイックチューブ)を使用する場合は耐熱性のものを使用する。 ※ 被覆鋼管の継手カバーは保温付きのものを使用する。 ※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温(簡易保温筒)施工を行う。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。																											
○ガス設備	ガス集合装置 給湯器用止水弁 その他	※ ガス集合装置は県標準図9・10・11を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。 ※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。 ※ ガス用フレキ管とガスコック等(ヒューズコック)との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。 ※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。 ※ ボンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。 ※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー(ケミカルアンカー)なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。 ※ 自記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で5年間保存する。																											
○浄化槽設備	種汚泥 試運転調整 その他	※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。 ※ 浄化槽の使用開始後おおむね3ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。 1 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査(BOD、SS、PH、大腸菌、塩素イオン)を行い、そのコピーを維持管理者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。 ※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。 ※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。 ○ 補助金申請設備																											

●空気調和・換気設備	空調機器の仕様 パッケージエアコン等 自動空気抜き弁装置 冷媒配管のラッキング ダクト 消音内貼り 厨房等の排気フード 送風機(大型) エアコン類の電気工事 防振ハンガー 耐震対策措置 機器付属の制御盤 大気汚染対策	※ グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成十二年法律第百号))の判断基準適合品とする。 ○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。 ○ 屋外機は耐塩害仕様とする。 ※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図13を参考にして注意する。 ○ 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。(建築工事標準詳細図参照) 1) 補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。 2) 野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊り設ける。 ※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。 ○ 不要 ○ 要()ヶ所 自動空気抜き弁にはGV及びストレーナーを取付ける。 ※ 配管ラッキング(溶融アルミニウム・亜鉛鉄板・配管化粧カバー)は室外機の直近まで施す。 ※ 配管樹脂化粧カバー(スリムダクト)も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。(コーキング処理、またはエンドキャップ処理)(フリーコーナー(ジャバラ)は使用しない。) ● アルミフレキ(不燃材料認定品) ○ ステンレスフレキ(不燃材料認定品) ● スパイラルダクト ● VUダクト ※ 内貼りチャンバーの寸法表示は、外法寸法とすること。サブライチャンバにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。 ※ 消音材はグラスウール(吹出口チャンバー・吸込口チャンバー・レターンチャンバーは25mm厚、サブライチャンバーは50mm厚)とし、ガラスクロス押えとする。 ※ 排気フードは、SUS430製とする。(1.0mm厚) ※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。 ※ 黄銅製コックは20mmのものとする。(キャップ止でもよい) ※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。 (参考: フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。) ※ 送風機の機器表にファンの番手(＃)を明記している場合、小さい番手にしない。 ※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース(0E2sq/4C・0E3.5sq/4C程度)を要す。 ※ Y1000線はEM-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。(但し延長が10m以下のY1000線は機器付属品でもよい。) ※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場合は同保温外装内に納める。(電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。) ※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ(1,300～1500h)照明SWの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。 ※ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準図14による。 ※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図15による。 ※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の壁の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。
○別工事 別途	別途工事	○ スリーブ、箱入れの補強筋 ○ ガラリ ○ 点検口 ○ ○ 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ プロパンボンベ庫 ○

III 材料メーカー表

材 料	材 料 メ ー カ ー
衛 生 陶 器	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業
水 栓 金 具 類	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
F R P 水 槽	三菱、日立、積水
う ず 巻 ポ ン プ	荏原、日立、㊞、川本
水 中 モ ー タ ー ポ ン プ	荏原、日立、㊞、川本、鶴見
汚 水 ・ 汚 物 ポ ン プ	荏原、日立、㊞、川本、鶴見、新明和
電 氣 温 水 器	四菱テック、ユパック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨 房 機 器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小 型 鋼 板 ボ イ ラ ー	巴、昭和、愛知、ネボン、ヒラカワ
F R P 膨 張 タ ン ク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ル ー ム エ ア コ ン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷 温 水 発 生 機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送 風 機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷 却 塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
自 動 制 御 機 器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロ ー ル フィ ル タ ー	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全 熱 交 換 形 換 気 扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
そ の 他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な 取扱資格者	ボイラ	○ 資格不要 ○ 特別教育修了者(小型ボイラ) ○ 講習修了者 ○ () 級ボイラ技士
	危険物	○ 資格不要 ○ 危険物取扱主任者
	冷凍機	○ 資格不要 ○ 第() 種冷凍機械作業主任者


	官公庁等		打 合 せ 事 項	確 認 日
給 水				令和 年 月 日
排 水				令和 年 月 日
排 水				令和 年 月 日
浄 化 槽				令和 年 月 日
ガ ス				令和 年 月 日
そ の 他				令和 年 月 日

設計年月日

R07 | 04 | 01

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247
事務所登録 第1324号
1級建築士 第196860号 永富 達也

THINKING KONG

SCALE
S=1:NS

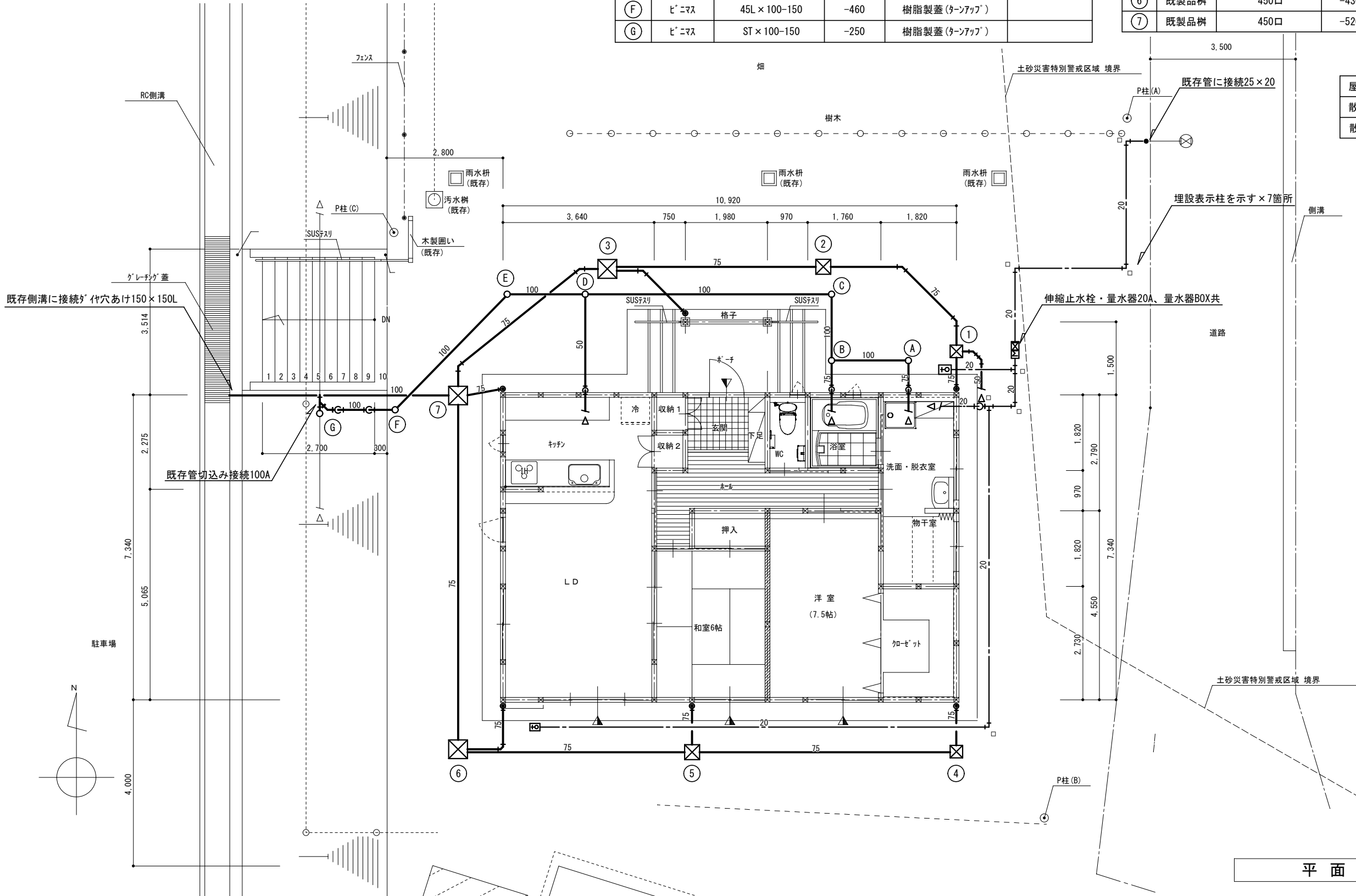
工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称
特記仕様書(2)

M-02

No. **

汚水樹リスト					
記号	種 類	大 き さ 接続口×管径－蓋径	管 底 現地GL	蓋	備 考
Ⓐ	ビニマス	90L×100-150	-300	樹脂製蓋 (タンアップ)	
Ⓑ	ビニマス	90Y×100-150	-320	樹脂製蓋 (タンアップ)	
Ⓒ	ビニマス	90L×100-150	-340	樹脂製蓋 (タンアップ)	
Ⓓ	ビニマス	90Y×100-150	-400	樹脂製蓋 (タンアップ)	
Ⓔ	ビニマス	45L×100-150	-420	樹脂製蓋 (タンアップ)	
Ⓕ	ビニマス	45L×100-150	-460	樹脂製蓋 (タンアップ)	
Ⓖ	ビニマス	ST×100-150	-250	樹脂製蓋 (タンアップ)	

雨水樹リスト					
記号	種 類	大 き さ	管 底 現地GL	蓋	備 考
①	既製品樹	300口	-300	MHB 300	
②	既製品樹	350口	-350	MHB 350	
③	既製品樹	450口	-400	MHB 450	
④	既製品樹	300口	-300	MHB 300	
⑤	既製品樹	350口	-370	MHB 350	
⑥	既製品樹	450口	-430	MHB 450	
⑦	既製品樹	450口	-520	MHB 450	

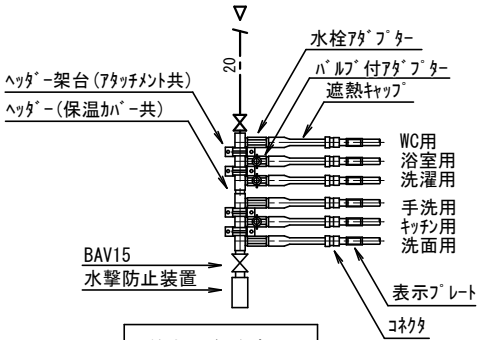


屋外		
散水栓	T28UNH13	2
散水栓BOX		2

平面図 S=1:100

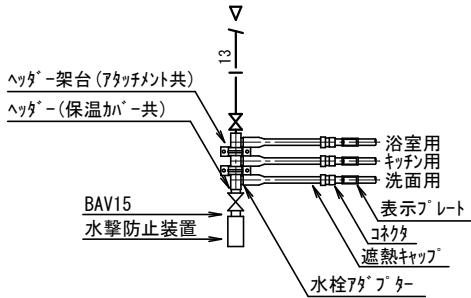
衛生器具リスト（品番は参考とし、同等品以上とする）			
洋風便器（ロータンク）	CS400BP	SH400BA	1
温水洗浄便座 リモコン便器洗浄		TCF6543AK	
キャビネットタイプ・手洗器	ULRB1RTBN2NN1BN		
ハンドル式水栓 タオル掛け付			1
床給水・床排水			
洗面化粧台（建築工事）			(1)
手すり（棚付二連紙巻器付）	YHBS600F		1
洗濯機パン	PWSP74H2W		1
洗濯機用水栓	TW11R		1
タオル掛け	YT500S4		1
ストレー止水栓 （洗面化粧台・キッチン流し用）			4

WHE-1 エコキュート電気温水器（水道直結型）
屋外設置型370L フルト追い焚き 転倒防止仕様 1φ200V
中間期標準加熱能力/消費電力：4.5kW/1.04kW、冬期高温加熱能力/消費電力：4.5kW/1.50kW
メインリモコン・サブリモコン リモコンコード（15m・5m） ヒートポンプ・貯湯タンク専用配管
給水：逆止弁付BAV20A、SUS製フレキ20A×300L、減圧弁20A 給湯：SUS製フレキ20A×300L
標準付属品一式 基礎建築工事



ヘッダー廻り部材（給水）

名 称	仕 様	個数
連鑄ヘッダー	3栓用	2
ヘッダー架台	防食仕様	4
アタッチメント	防食仕様	4
連鑄ヘッダー-保温材	3栓用	2
水栓アダプター	13A	4
バルブ付アダプター	13A	2
表示プレート		7
遮熱キャップ	13A（コネクタ共）	6
BAV	15A	1
BAV	20A	1
水撃防止装置	15A	1



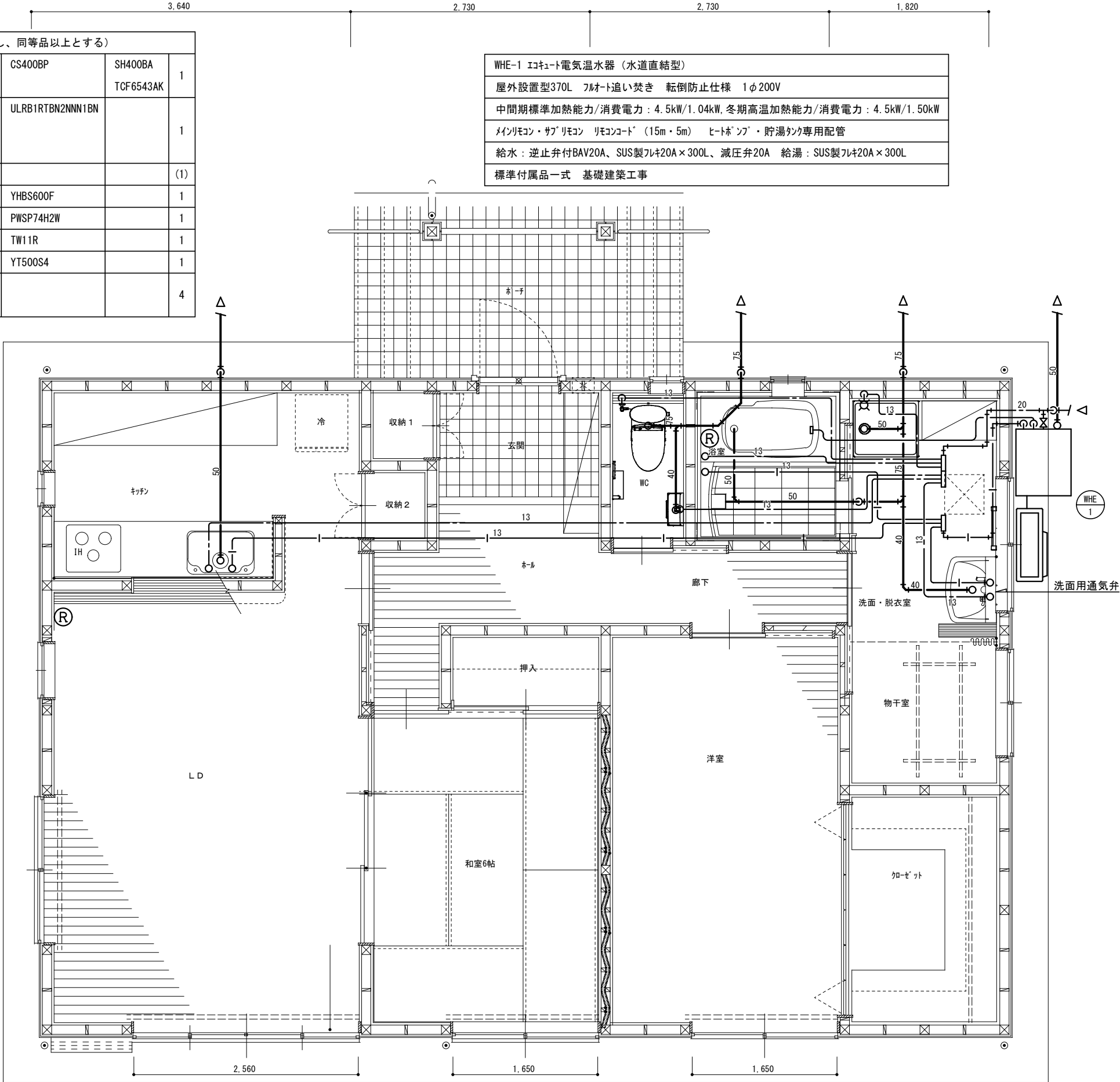
給湯ヘッダー参考図

ヘッダー廻り部材（給湯）

名 称	仕 様	個数
連鑄ヘッダー	3栓用	1
ヘッダー架台	防食仕様	2
アタッチメント	防食仕様	2
連鑄ヘッダー-保温材	3栓用	1
水栓アダプター	13A	3
表示プレート		4
遮熱キャップ	13A（コネクタ共）	3
BAV	15A	1
水撃防止装置	15A	1

水管部材

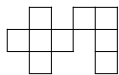
名 称	箇 所	個数
水栓ジョイントボックス	給水：浴室・洗濯・WC	3
水栓エルbow共	給湯：浴室	1
立型水栓ジョイント	給水：洗面化粧台・キッチン・手洗	3
水栓継手共	給湯：洗面化粧台・キッチン	2



平面詳細図

S=1:50

設計年月日	※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。
R07 04 01	※ 給湯設備（満水時15kgを超えるもの）が、H24告示1447号に適合している事。



株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1級建築士 第196860号 永富 達也



THINKING KONG

SCALE
S=1:50

工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図

図面名称

衛生平面詳細図

M-04

No. **

空調機器リスト

エアコンの消費電力値は近似値で可とする

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		定格消費電力 kW	台	備 考
			相	電圧			
			φ	V			
ACR-1	ルームエアコン	壁掛形　グリーン購入法適合品	1	100	冷房	2	和室・物干
		冷房能力：定格2.2kw　暖房能力：定格2.5kw			0.43		
		冷媒配管6.35×9.52　ドレン管20A　ワイヤレスコン			暖房		
		ブラロック　転倒防止金物（SUS又は溶融亜鉛メッキ）			0.47		
ACR-2	ルームエアコン	壁掛形　グリーン購入法適合品	1	100	冷房	1	洋室
		冷房能力：定格2.5kw　暖房能力：定格2.8kw			0.50		
		冷媒配管6.35×9.52　ドレン管20A　ワイヤレスコン			暖房		
		ブラロック　転倒防止金物（SUS又は溶融亜鉛メッキ）			0.53		
ACR-3	ルームエアコン	壁掛形　グリーン購入法適合品	1	200	冷房	1	LD
		冷房能力：定格4.0kw　暖房能力：定格5.0kw			0.96		
		冷媒配管6.35×9.52　ドレン管20A　ワイヤレスコン			暖房		
		ブラロック　転倒防止金物（SUS又は溶融亜鉛メッキ）			0.99		

換気機器リスト

風量は表示値以上、消費電力値は近似値で可とする

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		消費電力 W	台	備 考
			相	電圧			
			φ	V			
FE-1	ハイパワー用ファン	風量80m3/h　静圧5Pa時　角形格子ケリル　タテ径150φ	1	100	6.5	1	クローゼット
		ブラケ付電源コード　電気式シャッター　SUS製ケリ付深形フード150φ					
FE-2	天井換気扇　DCモーター	風量75m3/h（強）　静圧15Pa時　プラスチックタイプ　タテ径100φ	1	100	2.5	1	WC
	（24時間換気）	天吊金具　SUS製ケリ付深形フード100φ　24HRコントロールスイッチ（入切タイプ）					
FE-3	天井換気扇　DCモーター	風量80m3/h（強）　静圧10Pa時　プラスチックタイプ　タテ径100φ	1	100	2.5	1	物干
		天吊金具　SUS製ケリ付深形フード100φ					
E-1	ベントキャップ	SUS製ケリ付深形フード100φ　UB換気扇は建築工事				1	浴室
E-2	ベントキャップ	SUS製ケリ付深形フード150φ　レンジフードファンは建築工事				1	キッチン
S-1	給気ケリル	樹脂製　フィルター付風量調節全閉可能タイプ　タテ径100φ				3	LD、和室、洋室
		SUS製ケリ付深形フード100φ					

24時間換気計算（換気扇は計算による必要排気量以上を確保する事）									
室 名	床面積	平均天	容 積	換 気	必 要	必要排気量	実排気量	実 質	適 用
	m ²	井高m	m ³	種 別	換 回 数	m3/h	m3/h	換 回 数	
LDK	26.72	2.40	64.13						
和室	9.94	2.40	23.86						
洋室	12.42	2.40	29.81						
WC	1.77	2.30	4.07						
ホール	7.14	2.30	16.42						
玄関	2.59	2.42	6.27						
計			144.56	三 種	0.5	72.28	75	0.51	FE-2

